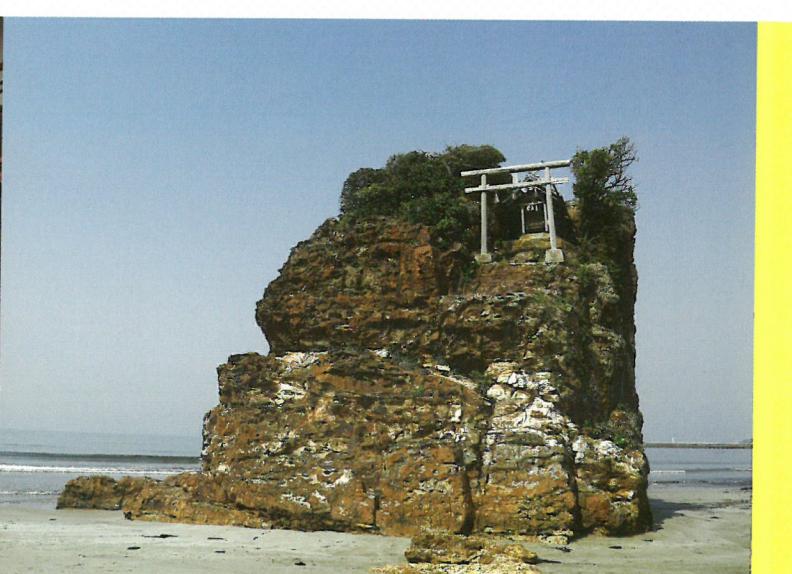


島根県の

# 公衆衛生 医師募集



# 公衆衛生医師について

## 考えている皆さんへ

島根県保健所長会長 中川 昭生



私たちは公衆衛生医師です。保健所は、地域における公衆衛生の砦であり、私たちの任務は、地域における公衆衛生の実践です。多くの仲間とともに、地域社会にアプローチし、健康をコンセプトとした地域づくりをめざしています。

例えば、要介護状態の最も大きな要因となっている脳卒中対策では、食事・運動をはじめとする生活習慣・環境の改善と高血圧・糖尿病等の基礎疾患管理、発症早期の受診啓発と救急搬送・治療体制、回復期・慢性期医療機関へのスムーズな移行と適切なリハビリ提供、地域での医療・介護連携をはじめとする受け皿づくり、など地域での総合的な体制作りを進めています。

食中毒・感染症等の防止と発生時対応に加え、地震・洪水等の被災者への保健・医療体制や衛生の確保、新型イン

フルエンザをはじめとする新興・再興感染症への対応など、いわゆる健康危機管理も重要です。

島根の地域保健活動の推進力は、住民の皆さん、様々な機関・団体、行政(市町村・県)の三位一体活動です。公民館や集落単位等の地区組織活動、医療・保健・福祉・学校・事業所等の様々な関係機関・団体等の参加・協力、市町村と県・保健所の相互信頼と密接な連携、これらは、島根の地域保健活動の魅力であり、財産です。

島根の公衆衛生医は、県民の命と健康を守る熱い思いを持った信頼できる仲間ばかりです。地域を想い、地域に学び、地域とともに! 地域でのふれあい、人々の笑顔は格別です。あなたも、一緒に歩んでいきましょう。

### 私たちが皆さんをサポートします!

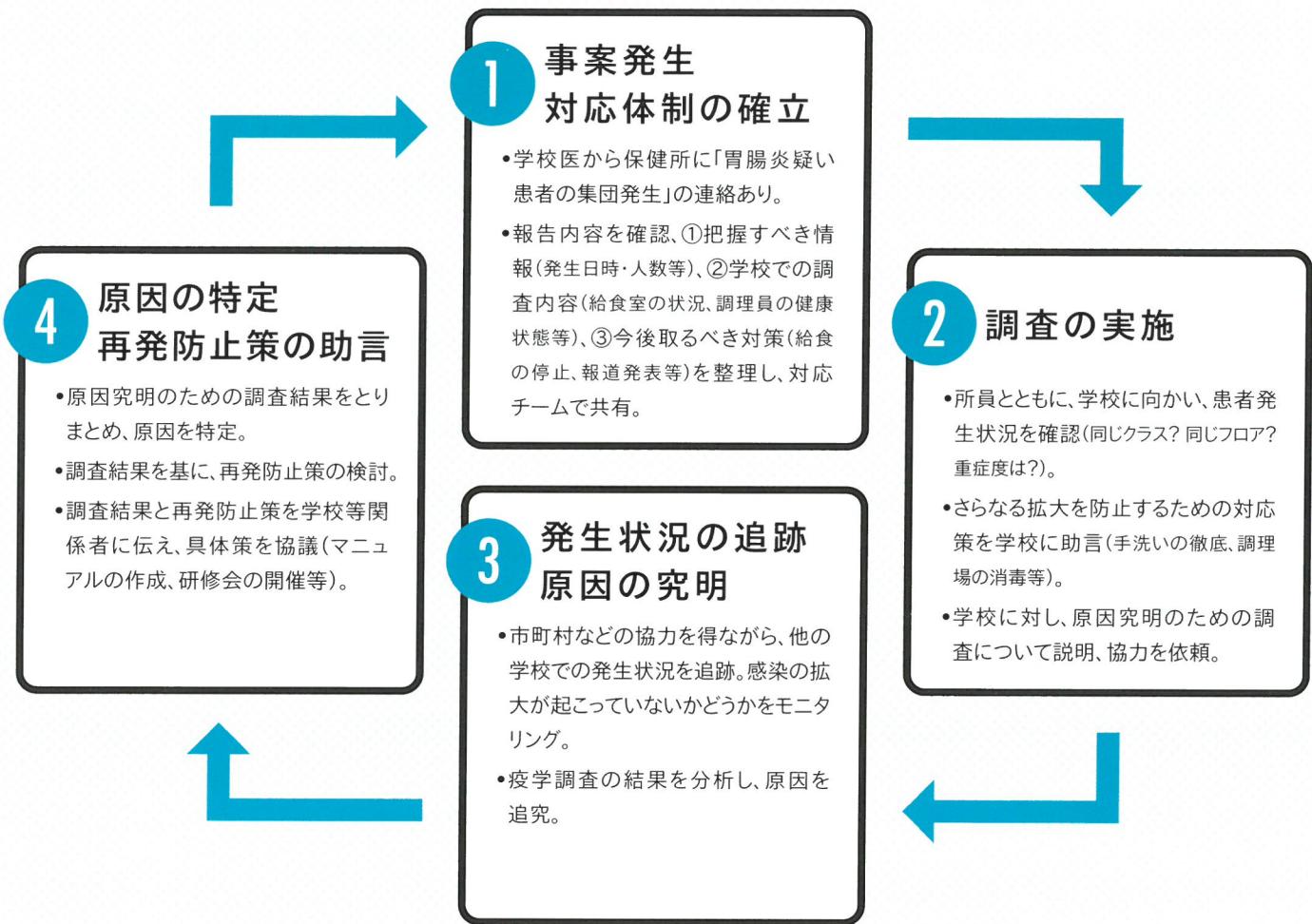


医療と同様に、多くの専門職の方々との連携で公衆衛生は成り立っています。医師、保健師、栄養士、薬剤師、獣医師、行政職――。医師の先輩はもちろんのこと、職場には頼りになる専門職の方々が大勢います。多様で複雑な問題を解決するためには、1人ではなく、チームで立ち向かう必要があります。そのため、医師だけではなく、多職種チームの全員があなたを支えてくれます。共に学び合う関係の中で、専門性を磨き、地域の未来を創りましょう!

# 地域の課題解決に取り組む

## 公衆衛生医師のお仕事

胃腸炎の集団発生への対応事例



### Q.1 臨床経験は役に立つ?

役に立ちます。公衆衛生の知識に限らず、医療現場で得られる医学的な知見や現場感覚は、行政でもとても大きな武器になります。初期研修のみの方も、10年以上臨床をされた方も、どちらも大歓迎です。

### Q.2 研修や勉強の場はあるのか?

県内はもちろん、国や研究機関主催の研修等に参加する機会は多くあります。特に若手の時期は、担当業務に関わる研修等には積極的に参加することが期待されます。それ以外にも、医師としてのスキルアップに関するものであれば、幅広に参加し、研鑽を積むことが求められます。

### Q.3 どういう待遇?

平日は8:30~17:15が通常勤務です。残業となることもありますが、県全体で残業削減に取り組んでいます。土日は基本的に休みです。給与は島根県医療職給料表(一)に従って支給されます。

Q  
&  
A



新型インフル対応訓練(診療)

新型インフル対応訓練(搬送)



世界腎臓デイイベント



世界エイズデー



健康づくり啓発

手洗い教室



01

若手医師より

杉谷 亮

保健所での勤務を経験後、県庁で保健医療計画・在宅医療などを担当しています。公衆衛生医師としての仕事の一番のやりがいは、地域の人々の健康を守る保健・医療の仕組みづくりに対し、医師としての専門性を生かしつつ、様々な職種の方々と協働して取り組むことができることだと思います。島根県には、豊富な経験と「公衆衛生マインド」を持った多くの先輩医師がいます。ぜひ、「チームしまね」の仲間として一緒に働きましょう!

02

保健師より

西 明美

島根県には離島・中山間地域など、バラエティに富んだ地域がたくさんあります。人口減少・少子高齢化の先進県ですが、いきいきと生活する県民の皆さんから、私達は元気をいただいています。島根で暮らす人々の生活・願いに思いを巡らせ、必要な保健・医療・福祉について考え、人と人、機関と機関をつなぐ活動を私達と一緒にしませんか?是非、島根の公衆衛生医として、健康づくり・まちづくりの処方箋を書いてください。私たち保健師も、公衆衛生に熱意のあるDr.を待っています!



## 保健所仲間からのメッセージ

03

獣医師より  
田原 研司



島根県に勤務する公衆衛生獣医師は、感染症や食中毒対策、動物愛護の推進、食肉衛生、環境衛生及び公衆衛生分野(特に、感染症・食中毒)における研究業務等に携わっています。昨今のグローバル化する新興・再興感染症の脅威や災害を含めた健康危害の様々なリスクへの対策・対応など、「One Health」の推進には社会医学系専門医が不可欠です。是非、この島根で専門医研修の受講をご検討ください!

\*「One Health」とは、人が健康であるためには、動物を含めた地球環境全てが健康・健全であること。

04

事務職より  
陶山 崇



地域包括ケアの推進を目指して、医療と介護の連携をはじめ様々な職種や関係団体と協働した「地域づくり」を進めています。島根は医療資源が多くはありませんが、その分、地域との距離が近く、一人一人が主役となり挑戦できる魅力があります。日本の課題を先取りする中で、全国に先駆けた取り組みも生まれつつあり、多くの人と出会うことで、日々刺激を受けることができます。答えは「島根」の中 있습니다。ともに成長しましょう。

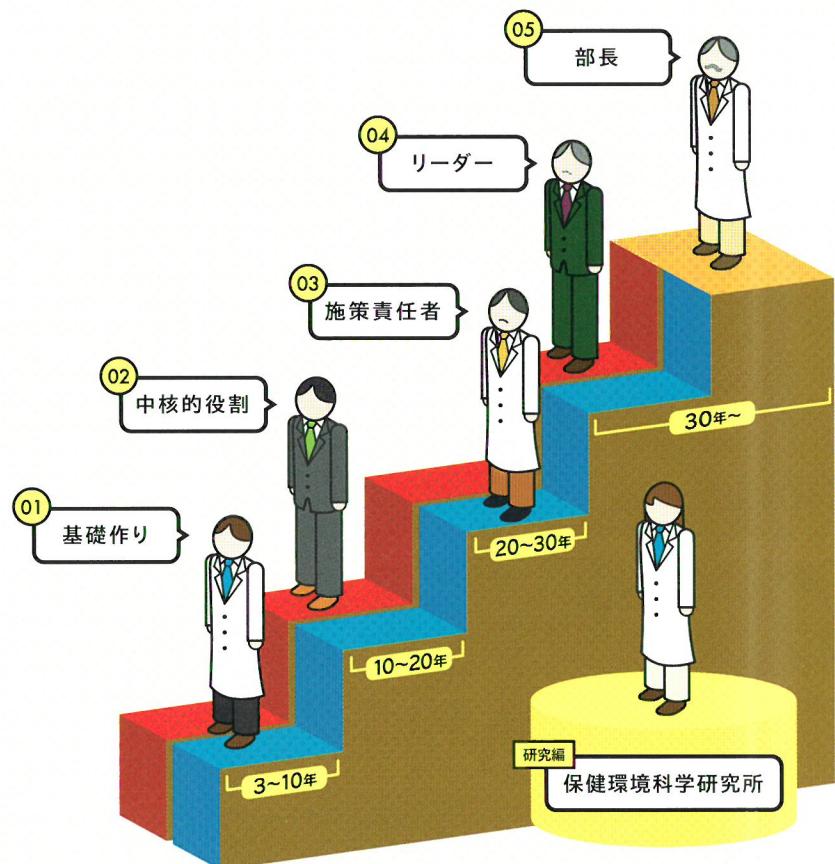
# 公衆衛生医師の歩み

## — 多様なキャリア形成 —

少子高齢化の進展、地域社会の変化ー。大きく変わる社会の中で、地域の健康を守るために、公衆衛生医師には、広い視野と専門性、豊かな人間性が求められます。

若い頃は専門性を生かして公衆衛生の基礎力を養い、その後は施策立案・実行能力を高め、保健所長になる頃には、県全体を見据えた大局的な視野を持ったリーダーとなることが期待されます。また、保健環境科学研究所では、保健や環境に関する各種の調査研究を行うなど、島根ならではのキャリアも積めます。

### 公衆衛生医師のキャリアパス(島根県の場合)



#### 01 基礎作り 医療専門員級 (保健所・本庁:医療専門員)

- 県の新規採用職員研修等を受け、県職員として行政の基礎を培う
- 直接の担当者として、感染症や医療政策、難病支援などの事業を担い、年間のPDCAサイクルを回す

#### 03 施策責任者 保健所長級 (保健所:所長、本庁:課長、医療企画監)

- 組織のリーダーとして、全体の業務を管理するとともに、部下の育成にあたる
- 平時には、地域の保健・衛生・環境の課題解決のための指揮を執り、緊急時には、地域の健康を守る責任者となる

#### 05 部長級

- 全県の保健・医療・福祉を視野に入れ、県行政の推進役として知事を補佐する

#### 02 中核的役割 保健所課長級 (保健所:課長、本庁:医療専門幹)

- 保健所では4~8人の部下を持ち、業務遂行を管理する
- 感染症や災害等の危機管理では、対応の前線に立ち、関係機関と連携しながら地域の健康課題に取り組む

#### 04 リーダー 次長級 (保健所:所長、本庁:医療統括監・参事)

- 県施策を推進する部長を補佐し、県全体を見据えた業務管理にあたる
- 職種を問わず、幅広く後進の育成にあたる
- 地域の顔として、市町村長や病院長等と協同し、様々な課題の解決にあたる

#### 研究編 保健環境科学研究所

- 島根県の保健・環境行政における科学的・技術的中核機関として、県民の生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るために、試験検査、調査研究、研修指導および公衆衛生情報の収集・解析・提供などの業務を行っています。

## 子育てと仕事の両立

医師 / 鈴宮寛子

小児科臨床11年間を経て公衆衛生の道に。子育てと仕事の両立という点からは、夜に会議等はあるものの、当直ではなく、事前にスケジュールを立てやすいことが女性にとってのメリットです。

公衆衛生には、医療では味わえない多職種・多機関の人々との出会いや、様々な制度や考え方を学び、また仕組みを作ることができる楽しさもあります。公衆衛生医師を目指して、是非、島根県で一緒に働きませんか。



## 地域における感染症対策の醍醐味

医師 / 柳樂真佐実

大学の医療情報学講座を経て公衆衛生の道に。1年目に保健所の結核対策を担当し、2年目に県庁で麻しん対策、感染症法の改正、新型インフルエンザ対策などを経験。感染症対策のダイナミックさに魅了され、感染症研究所で2年間、感染症疫学にどっぷり浸かる学びの時を持てました。

ピンとくる分野から入り、その先に広がる世界の面白さ。やるべき事は沢山あります。ぜひ門を叩いてください。



## 基礎研究から行政の道へ

医師 / 片岡大輔

大学院で病理系博士課程を修了し島根県に。国立保健医療科学院専門課程への派遣を経て、保健所や県庁で勤務しています。

公衆衛生の醍醐味は、職業、人間関係、社会資源など様々な生活背景を抱える住民の方々が健康な生活を送ることができるよう、私たちが知恵を絞ることにあります。温かい先輩医師や同僚とともに島根の公衆衛生の現場で一緒に頑張りましょう。お待ちしています。



公衆衛生医師の仲間たちがお待ちしています！



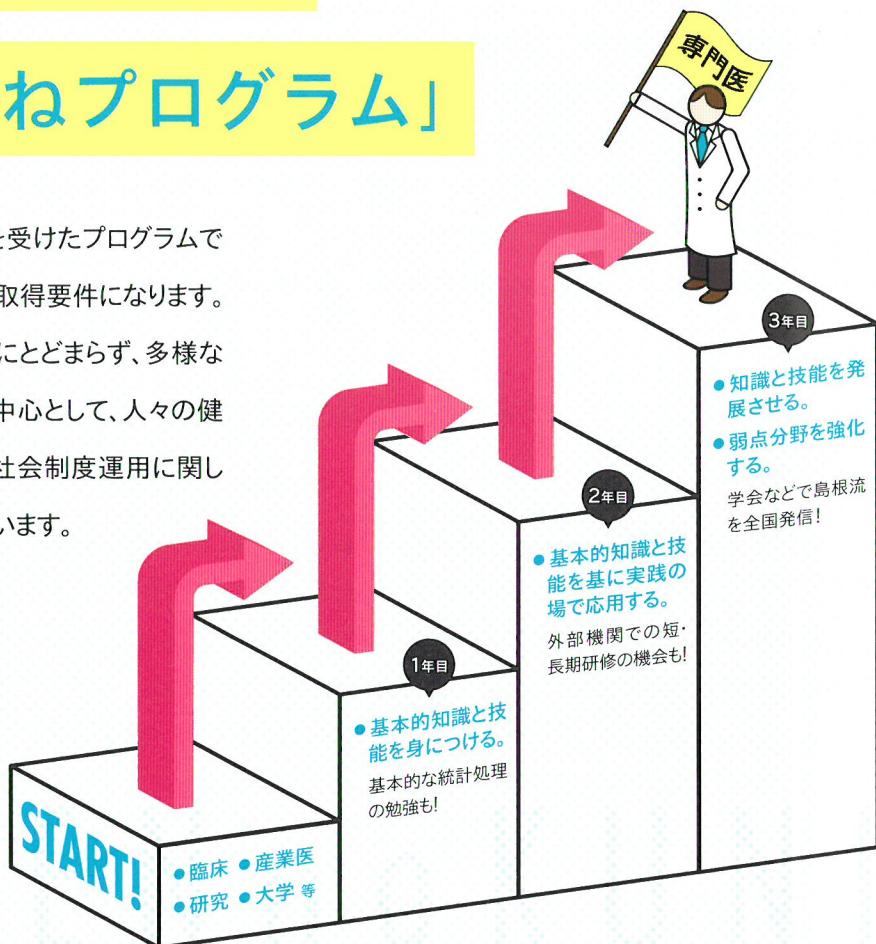
# 社会医学系専門医研修

## 「ご縁の国しまねプログラム」

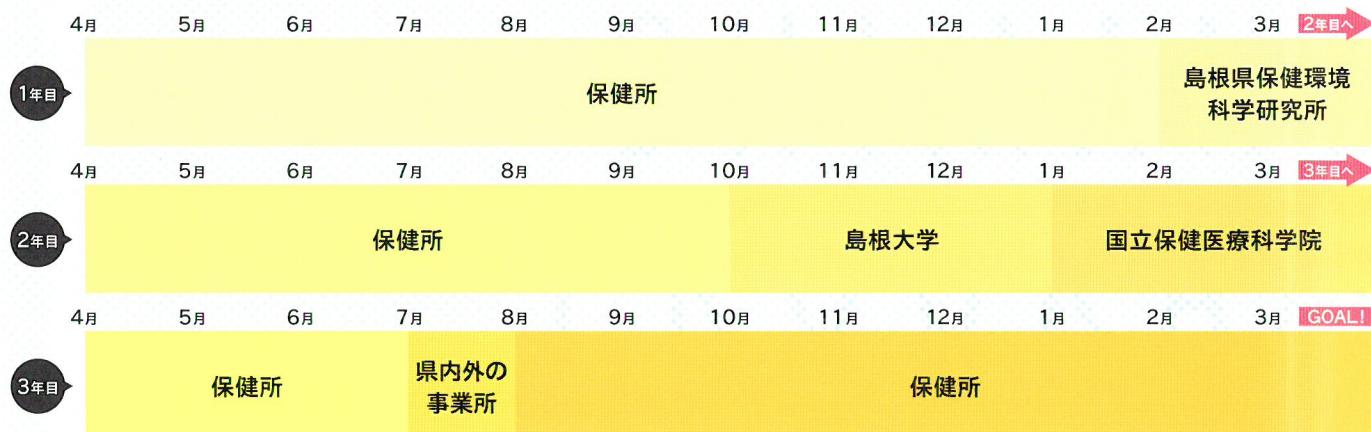
本研修は、社会医学系専門医協会の認定を受けたプログラムであり、3年間の研修は、社会医学系専門医の取得要件になります。

社会医学系専門医は、個人へのアプローチにとどまらず、多様な集団、環境、社会システムへのアプローチを中心として、人々の健康の保持・増進、傷病の予防、リスク管理や社会制度運用についてリーダーシップを発揮することを目的としています。

3年間の研修では、県内外の関係機関と連携しながら、専攻医それぞれの希望に応じた実践現場を設け、実際の実務から研究まで、幅広い研修内容とすることが可能です。



### 3年間の研修例



### 来たれ、未来の公衆衛生人材！

島根大学医学部は、本プログラムの連携施設のひとつです。社会医学系専門医の取得に向けた学術的支援、大学として実地研修の機会を提供します。また、大学での定例勉強会への参加や、将来の学位取得・国内外の留学などに関する支援を行うことができます。さあ、一緒に社会医学系専門医取得を目指しましょう！

島根大学医学部環境保健医学講座 教授 神田 秀幸



お問い合わせ先

島根県健康福祉部健康福祉総務課

TEL:0852-22-5249 FAX:0852-27-6317 e-mail:kenpuku-somu@pref.shimane.lg.jp

